


## 重点戦略とSDGsの各ゴールの関係について（案）

第五次環境基本計画の構成（事務局素案）	SDGs
<b>1. 持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 企業戦略における環境ビジネス・環境配慮の主流化</li> <li>(2) 国内資源の最大限の活用による国際収支の改善・産業競争力の強化</li> <li>(3) 金融を通じたグリーンな経済システムの構築</li> <li>(4) グリーンな経済システムの基盤となる税制等</li> </ul>	      
<b>2. 国土のストックとしての価値の向上</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然との共生を軸とした国土の多様性の維持</li> <li>(2) 持続可能で魅力あるまちづくり</li> <li>(3) 環境インフラを活用したレジリエンスの向上等</li> </ul>	      
<b>3. 地域資源を活用した持続可能な地域づくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域資源の最大限の活用</li> <li>(2) 都市と農山漁村の共生・対流と広域的なネットワークづくり</li> </ul>	     
<b>4. 健康で心豊かな暮らしの実現</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境にやさしく健康で質の高い生活への転換</li> <li>(2) 森里川海とつながるライフスタイルの変革</li> <li>(3) 安全・安心な暮らしの基盤となる良好な生活環境の保全</li> </ul>	        
<b>5. 持続可能性を支える技術の開発・普及</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 持続可能な社会の実現を支える最先端技術の開発</li> <li>(2) 生物・自然の摂理を応用する技術の開発</li> <li>(3) 持続可能な社会の実現に向けた技術の早期の社会実装の推進</li> </ul>	     
<b>6. 国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 国際的なルール作りへの積極的関与・貢献</li> <li>(2) 海外における持続可能な社会の構築支援</li> </ul>	    

※上記の案は、事務局の試案であり、今後変更があり得る。